



2026年8月13日

各 位

会社名 フリー株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 佐々木 大輔
(コード番号:4478、東証グロース)
問合せ先 常務執行役員CFO 坪井 亜美
(TEL. 03-6683-0242)

2026年6月期連結業績と前期実績値及び業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、2026年6月期(2025年7月1日～2026年6月30日)の連結業績において、前期実績値及び業績予想との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期における連結業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
2026年6月期 連結業績(A)	百万円 42,441	百万円 1,091	百万円 746	百万円 1,077
2025年6月期 連結業績(B)	33,270	610	412	1,370
増減額(A－B)	9,171	480	334	▲292
増減率(%)	27.6%	78.6%	81.0%	▲21.4%

(差異の理由)

営業利益及び経常利益は、売上高の堅調な増加に加え、AI活用等を通じた営業・研究開発の生産性向上、これに伴うコスト効率化により大幅増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の減少により減益となりました。

2. 2026年6月期における連結業績と業績予想との差異

	売上高	調整後営業利益 ⁽¹⁾	調整後フリー・キャッシュ・フロー ⁽²⁾
2026年6月期 連結業績(A)	百万円 42,441	百万円 2,663	百万円 ▲351
前回発表予想(B)	41,930	2,520	1,260～2,520
増減額(A－B)	511	143	▲2,871～▲1,611
増減率(%)	1.2%	5.7%	-

1. 調整後営業利益(＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一時費用)
2. 一般的なフリー・キャッシュ・フロー(営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー)に対して、クレジットカード事業で発生する立替金の増減、ファクタリング事業で発生する買取債権の増減及び、ESOP権利確定時の従業員向け金銭給付が営業キャッシュ・フローに与える影響と、M&Aに伴う支出及び収入が投資キャッシュ・フローに与える影響を調整したもので、事業活動における実質的なキャッシュ・フローを示す

(差異の理由)

売上高及び調整後営業利益は、AI活用等を通じた全社的な生産性向上を推進しつつ、新規顧客の獲得やクロスセルが好調に推移した結果、前回発表の業績予想を上回る着地となりました。調整後フリー・キャッシュ・フローは、未払金、前受収益等の計上額が当初想定を下回ったことから、前回発表の業績予想に対して未達となりました。

以 上